



# 『郷土かるた』で 県内チームと交流

# MOROYAMA PHOTO SNAP NEWS

最近のイベント&ニュースを写真で紹介

## 第37回彩の国21世紀郷土かるた 埼玉県大会に出場しました。



3月10日、戸田市スポーツセンターで第37回彩の国21世紀郷土かるた埼玉県大会が開催され、毛呂山町子ども会育成会連絡協議会の川角子供会（団体）、第二団地子供育成会（個人）が出場しました。当日は、県内から、団体は120チーム、個人は120人が出場し熱戦



が繰り広げられました。参加した選手たちは、埼玉県内から集まった子どもたちと『郷土かるた』を通じて交流を図ることができました。

## ライナと一緒にダンス&野球体験

### ゆずの里保育園で埼玉西武ライオンズフレンドリーシティの連携協力事業を開催しました。

2月25日、ゆずの里保育園で、埼玉西武ライオンズフレンドリーシティの連携協力事業の一環として「レオ・ライナと楽しく遊ぼう！」を行いました。この事業はライオンズが行うこども支援事業のひとつで、園児たちはライオンズのマスコット「ライナ」と一緒にダンスや野球体験を楽しみました。



野球体験では、ブルーレジェンズのお姉さんとライナが打ち方を伝授。一人ずつ、スポンジボールを打って、走って、ベースを踏んで、ライナにタッチ。園児も子育て支援センターのお友だちも笑顔で大はしゃぎ、最後はライナと写真撮影して大満足の1日となりました。



## 願いを込めて的を射る 出雲伊波比神社『春のやぶさめ祭』



3月10日、出雲伊波比神社で、春のやぶさめが行われました。春のやぶさめでは6歳以下の子どもが馬に乗り、静止した状態で弓を射る『願的』を行います。  
 今年の乗り子をつとめたのは、前久保の中里太一<sup>なかざとたいち</sup>くん（5歳）。神社に着いた太一くんは多くの観客の中で少し緊張した様子でしたが、一本の矢に願いを込めて射るとカンッと大きな音をたてて見事、的に命中。大役を終えた太一くんは拍手に包まれる中、安心した様子で笑顔を浮かべていました。



春のお祭りに、毛呂本郷囃子保存会のお囃子や商工会女性部によるおどりが披露されました。

